

Beyond KUSS , 2020 !!

卒業後のステージ 6回生進行形(その4)

中等教育学校最後の夏季休業が始まります。卒業後のステージに立つ日も近づいています。夏季休業中に取り組むべきことを紹介します。向き合ってください

1 「第1志望」(卒業後のステージ)を設定。これが揺らぐと出願が揺らぎ、自分を成長させる受験になりません。進路は自身が決断・選択するものです。

9月になるとセンター試験の出願準備が始まります。「第1志望」が説明できないと、センター試験の受験科目も申請できず、出願第一歩から混乱します。

学校が、推薦・AO入試を勧める・支援するのは、「第1志望」の場合だけです。

2 「第1志望」突破のための学習計画。基礎・基本の徹底のためにまとめた時間を使える最後のチャンスです。秋・冬に後悔することないように、この夏を過ごしてください。

「第1志望」突破に必要な基礎・基本の充実を大切にしてください。夏季休業中に自分の学習ができない人は、センター試験後も実現できない危険性が高いです。

3 センター試験のリスニングのイヤホン使用は大丈夫。イヤホンが使用できない場合、ヘッドホン使用申請が必要になります。申請の可能性がある人は、夏休み中に申請書の準備をしてください。大学入試センターHP掲載の『受験案内』43ページを確認してください(https://www.dnc.ac.jp/center/shiken_jouhou/r2.html)。なお『受験案内』は9月に学校を通じ、配付します。

4 体調管理。規則正しい生活を心がけ、健康を維持しましょう。不規則な生活に起因する体調不良は、長引く危険性があります。睡眠・食事を大切にしてください。受験は暑い夏を超え、涼くなる秋、寒さ厳しい冬を越え、春まで続きます。

模擬試験について

1 時程・会場

(1) 時程(右図参照) 8月17日(土)・18日(日)

(2) 会場 人間発達環境学研究所(鶴甲第2キャンパス)

☆ 文系：B202 理系：B212

2 マーク模試を受験するにあたって

(1) マークには鉛筆(H・F・HB)を用いてください。センター試験では鉛筆でマークしなければいけません。模試段階から鉛筆の使用に慣れましょう。

(2) マークシートにマークする際、ズレが生じないように、十分に注意しましょう。最低でも大問ごとに確認する習慣をつけましょう。

(3) マークを訂正する際、丁寧に消しましょう。消し方が不十分な場合、ダブルマーク扱いになり、採点対象外(0点)になってしまいます。

(4) 自己採点できるよう、問題冊子に自分の解答をチェックしておきましょう。解答を訂正する際、問題冊子のチェックを訂正することも忘れないようにしましょう。

(5) 各教科・科目の目標をできるだけ具体的に設定し、自己採点で達成できたかを点検しましょう。達成できなかった場合、その原因を考え、実力向上に役立てましょう。

(6) 昼食・飲み物等、準備してください。その他、学年の指示をよく聞いてください。

17日(土)人間発達環境学研究所

8:45 ~ 8:50	出席確認
8:50 ~ 9:50	地歴公民①
9:50 ~ 10:50	地歴公民②
11:00 ~ 12:20	国語
13:00 ~ 14:20	英語(筆記)
14:30 ~ 15:00	英語(リスニング)

18日(日)人間発達環境学研究所

8:45 ~ 8:50	着席完了
8:50 ~ 9:50	理科基礎
10:00 ~ 11:00	数学①(I・A)
11:00 ~ 12:00	数学②(II・B)
12:40 ~ 13:40	理科①
13:40 ~ 14:40	理科②

☆ 全科目受験終了後、自己採点開始

☆ 問題冊子に必ず解答をひかえる

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

『Beyond KUSS , 2020 !!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。